

平成 22 年度第 1 回(通算第 14 回)冷凍空調規格委員会
冷凍空調装置の施設基準検討分科会
議事録

1. 日 時 : 平成 22 年 11 月 1 日(金) 13:30～16:30
2. 場 所 : 高压ガス保安協会 第 5 会議室
3. 出 席 : 委員 : 樋口主査、福田副主査、辻、松浦、太田、川野、山本、
新、三浦、中川
KHK : 松木、鈴木
4. 配付資料 :

資料 48 分科会委員名簿

資料 49 前回議事録(案)

資料 50 冷凍空調装置の施設基準(NH₃の施設編)

資料 51-1～4 冷凍空調規格委員会委員からの意見

資料 52 Accident Prevention and Response Manual for Anhydrous Ammonia
Refrigeration System Operators

5. 定足数報告 : 事務局から定足数を満たす旨報告があった。

6. 議事

(1) 前回議事録の確認

資料 49 に基づき、前回の議事が確認され、議事録が承認された。

(2) 冷凍空調装置の施設基準 (NH₃施設編) の見直しについて

資料 50 に基づき、事務局から説明があり、検討がなされた。

- ・適用範囲の注書きは、箇条書きにする等使用者側の使い勝手を重視してはどうか。
- ・2. 用語の意味の「吸収溶液」を加えるべきではないか。
- ・2.(4)の「冷媒ガスの加害性」は必要ではないか。 この場合、ISO5149 と冷凍保安規則の規定において矛盾のないよう解説する必要がある。

- ・ 2.(8)の「限界濃度」は残すべきではないか。 なお、一般高圧ガス保安規則では、じょ限量として示されている。機械室を対象に限界濃度を検討してはどうか。
- ・ 現行の 2.建物の用途区分と冷凍システムは、新しい冷凍システムも加えて残すべきではないか。

この後、本資料（資料 50）について、年内を目処に各委員から意見、提案等を提出していただくこととした。

（3）その他

次回は、上記意見の提出内容を整理した上で、設定することとした。

以上